



ヒルトン広島

第73期

中間期 株主通信

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

その先の向こうへ
GOING FURTHER

 五洋建設株式会社

証券コード：1893

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2022年4月1日から2022年9月30日までの、2022年度（第73期）第2四半期の事業概要ならびに今後の見通しにつきまして、ご報告申し上げます。



代表取締役社長

清水 琢三

Q 2022年度上半期を振り返って、いかがでしたか？

A 世界経済は新型コロナウイルス感染症の長期化に、ロシアのウクライナ侵攻が加わり、資源・エネルギー価格やあらゆる物価の高騰により先行き不透明な状況が続いています。そのような中であっても、わが国をはじめ世界の主要国では、行動規制の緩和により経済の再生・成長に舵が切られ、景気の持ち直しが見られました。建設業を取り巻く環境は、防災・減災、国土強靱化の推進等、高水準の公共投資が続くとともに、民間設備投資も堅調な企業業績などを背景に持ち直しが見られました。しかしながら、燃料やエネルギー、建設資材の高騰など、国内外で工事原価の上昇に直面しています。

こうした中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,277億円（前年同四半期比8.3%増）、営業利益67億円（同43.6%減）、経常利益70億円（同39.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益48億円（同42.7%減）となりました。

売上高は、国内および海外にて大型工事が進捗したことにより前年同四半期に比べ175億円の増加となりました。その一方で、国内土木と海外において船舶稼働率の低下や利益率の低下により完工総利益が減少し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも減益となりました。

Q 受注の状況はいかがですか？

A 第2四半期の個別の建設受注高は、前年同期比104.3%増の3,372億円となりました。国内土木1,286億円（同61.8%増）、国内建築1,215億円（同61.1%増）、海外871億円（同756.1%増）と、各部門ともに大幅に増加し、中間期としては過去3番目の受注額となりました。国内土木は国内最大規模となる大型港湾工事など、国内建築は国内最大規模となる再開発工事など、海外はシンガポールで大型病院建築工事を受注したことによるものです。しかしながら、国内では土木、建築とも大型工事を除く通常工事の受注が出遅れ、前年同期比それぞ

れ30.4%、17.5%減少しました。

通期の受注目標は、総合経済対策により今年度の第2次補正予算で公共事業関係費が前年度並みに確保されたことから、当初計画通り6,800億円を見込んでいます。

Q 通期業績予想を修正した理由についてお聞かせください。

A 中間決算の結果を踏まえ、2022年5月に公表した2022年度の通期業績予想を修正しました。連結売上高4,850億円（前回予想比5.8%減、前期比5.8%増）、営業利益225億円（前回予想比28.6%減、前期比41.2%増）、経常利益215億円（前回予想比30.6%減、前期比37.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益145億円（前回予想比31.0%減、前期比34.8%増）と、当初計画に比べて大幅な減益予想となりました。

国内土木では、大型港湾工事を除く通常案件の上半期の受注の出遅れによる完成工事高の減少、前期に高採算工事が完工したことによる利益率の低下、船舶稼働率の低下が要因です。国内建築も、大型再開発工事を除く上半期の受注や手持ち工事の着工が遅れたことによる完成工事高の減少、建設資材価格の高騰等が要因です。海外は、為替の影響、燃料や資材、労務費の高騰に加え、船舶稼働が期初予想を下回ることが要因です。

なお、配当につきましては、業績悪化は一過性であるため、期初予想通り、一株当たり24円（配当性向47.3%）を予定しております。

Q 今後の見通しについてお聞かせください。

A 2022年度につきましては、誠に遺憾ながら2期連続で期初の業績予想を下方修正することになりました。次期の2023年度は、今年度に受注した国内土木及び国内建築の大型工事等の進捗により事業量が拡大し、過去最高の売上高となる見通しです。それに伴い利益面でも大幅な増益となる見込みです。

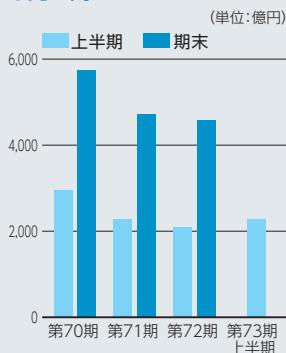
為替や燃料・エネルギー価格、建設資材価格の動向に注視しつつ、国内外、官民ともに旺盛な建設需要に積極的に対応してまいります。また、カーボンニュートラル実現に向けて再エネの主力と期待される洋上風力の建設や建物のZEB化に進取の精神で取り組んでまいります。

五洋建設グループは、ESG重視のCSR経営の実践を通じてサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

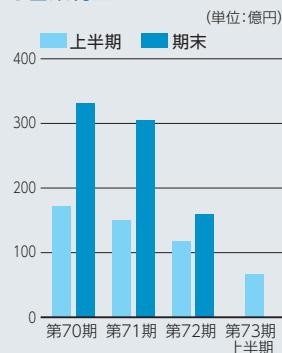
株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【連結業績の推移】

◎売上高



◎営業利益



◎親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



◎自己資本比率



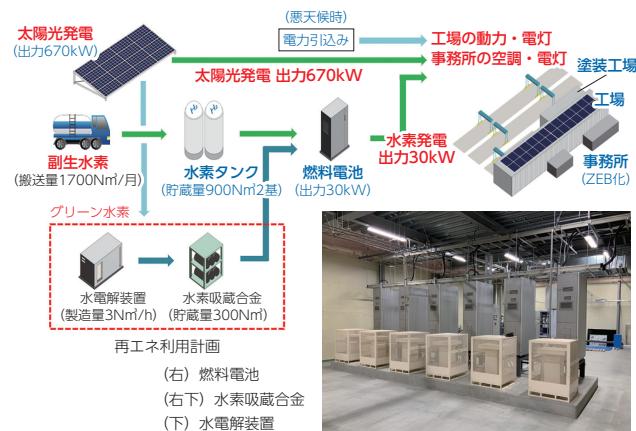
室蘭製作所新工場完成 ～再エネ100%工場、水素エネルギー利用・実証

五洋建設は、2050年カーボンニュートラル（CN）実現のため、洋上風力発電の建設や建物のZEB化（ゼロ・エネルギー・ビル）など、グリーン分野に挑戦しています。新工場は、太陽光をメインに水素も利用して工場および事務所の全ての電力を再生可能エネルギーでまかなうCN先進工場です。新工場では、従来の橋梁などに加え、将来の再生可能エネルギーの主力として拡大が期待される洋上風力発電の建設に用いる風車の基礎やタワー、ブレードなどの架台など、様々な仮設鋼構造物を製作する工場として更なる発展を目指します。

■水素エネルギーの利用・実証

室蘭製作所新工場では、太陽光発電の電力を利用した水電解装置と水素吸蔵合金によるグリーン水素※1の製造・貯蔵と、副生水素※2の購入・貯蔵を行っています。貯蔵した水素は燃料電池による発電に利用し、発電した電力は工場全体へ供給されます。

※1 グリーン水素：水を電気分解し水素と酸素に還元することで生産される水素
 ※2 副生水素：苛性ソーダ、塩素ガスの製造過程で発生する水素



室蘭製作所新工場 全景

■事務所のZEB化 ～ZEB認証取得

事務所部分の省エネ化のために寒冷地に適した省エネ技術を導入しています。省エネ技術の導入によって消費エネルギー削減率65%、省エネ率（創エネ含む）425%を達成し、ZEB認証を取得しました。

導入した省エネ技術

- ・建物の高断熱化、樹脂サッシ(Low-E複層ガラス)の採用
- ・高効率空調機器と各種センサーで制御、自然換気の促進
- ・ガラス採光フィルムで自然光を拡散、照度センサーで制御



BELS Building-Housing Energy-efficiency Labeling System
 建築物省エネルギー性能表示制度

目標削減率 65%削減
 削減率 (20%削減)

省エネ率 (創エネ含む) 425%

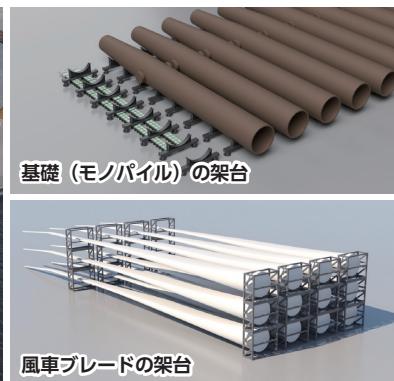
ZEB認定証

室蘭製作所新工場完成 ～新工場の概要

■洋上風力建設関連の仮設鋼構造物やその他鋼構造物製作の多様なニーズに応える新工場

当社は1970年に、北海道室蘭市に本社を置き、橋梁・鉄骨製作や建設工事を手掛けていた神工業を吸収合併し、北海道に本格的に進出しました。合併後、当社の室蘭製作所として橋梁等の製作を行ってきました。

今回の新工場の建設によって、従来の橋梁などの鋼構造物製作事業の生産効率改善・競争力アップに加え、洋上風力発電関連部材向け架台等の仮設鋼構造物の製作に対応可能な工場として生まれ変わりました。



■約9,600㎡の建屋に最新鋭の工作機械や大小多様なクレーンを導入

新工場には天井クレーンや片脚橋形クレーンなど大小多様なクレーンを設置しており、大型製品の加工から組立、溶接までスムーズに行うことが可能です。大型加工物の運搬のために幅14mの間口も設けています。品質向上、大型部材対応、作業効率向上を目的に最新の工作機械も導入しました。また、工場に隣接して製品プラストにも対応した全天候型塗装工場を備えているほか、屋外には製品の保管・仮組立スペース等多目的に使用可能な6台の橋形クレーンを備えた25×200m（2列）と15m×90m（1列）のコンクリート床版ヤードがあります。



ヒルトン広島竣工（国内建築）

■先進的な取組みの実践で、工期短縮と人的負荷の低減を両立

国際平和都市広島に国際的MICE※1に対応可能なフルサービスホテルが誕生しました。

工期の大半が、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中、生産性向上の先進的な取組みで、工期短縮と人的負荷の低減を両立、職員の4週8休も実現しました。PiCOMS（Penta-Ocean Integrated Construction Management System、五洋建設統合施工管理システム）やBIMなどを活用した非接触・リアルタイムな情報共有、迅速な合意形成による効率化など、更なる生産性向上に取り組めます。

※1 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称（Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition/Event）



PiCOMSによる効率的な現場管理

PiCOMSは、鉄骨工事や外装PCa工事の進捗状況をBIMモデル上に色分けして表示することで、リアルタイムな情報共有を可能にするシステムです。進捗データの属人化を防止し円滑な工事進捗に寄与しています。運用を開始して以降、技術開発と現場実証を継続し、適用可能な工種を拡大させています。

当工事においては鉄骨工事と外装PCa工事の進捗状況を一元的に可視化し、効率的な現場管理に貢献しました。

施工BIM（Building Information Modeling）の活用

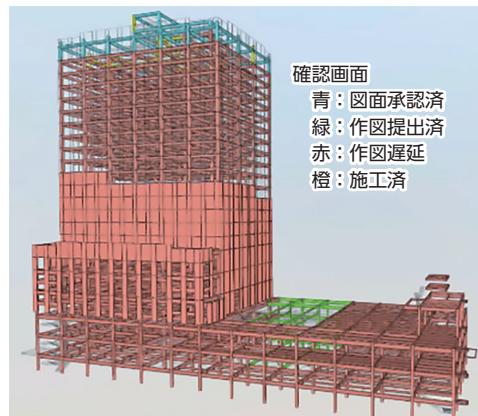
施工BIMとは、施工段階でのBIM活用のごとで、施工管理業務の様々な側面で省力化に効果があります。

当現場でも三次元のBIMモデルから躯体図や平面詳細図を作成したほか、三次元モデル上の内外装パースを活用した発注者や設計者との合意形成、三次元モデルでの干渉部位の事前把握、仮設計画や施工計画の三次元モデルでの可視化などに取り組み、各種作業や合意形成の効率化・迅速化を実現しました。また、BIMデータはいつでもタブレット端末で閲覧可能なため、三次元モデルと現場状況を見比べながら確認することもできます。

職長にiPadを貸与し、リアルタイムな情報共有

iPadのアプリを利用した図面・写真の共有や効率的な情報共有を行いました。また、建設現場施工管理アプリ「Buildee」を活用することで、安全日誌の作成や作業調整、搬出入調整を効率化しました。

職長にiPadを貸与したことによって、図面や安全日誌など従来紙ベースでやり取りしていた書類が電子化され、印刷のための時間や紙の受け渡しのための移動時間などが削減され、職員と作業員の働き方改革にも寄与しました。



確認画面

- 青：図面承認済
- 緑：作図提出済
- 赤：作図遅延
- 橙：施工済

BIMモデルを活用した工事進捗共有（PiCOMS）

【工事概要】

- 工事名称：富士見町フルサービスホテル建築工事
- 発注者：富士見町開発合同会社
- 構造：S造 地上22階
- 延床面積：48,027.7㎡

エレクティブケアセンター&ナショナルデンタルセンター新築工事 受注(海外)

■シンガポールで大型病院建築工事を受注

シンガポール国内で当社6件目の大型病院建築工事となるエレクティブケアセンター&ナショナルデンタルセンター新築工事を受注しました。シンガポール国内での大型病院建築を通して積み上げた信頼・実績・ノウハウが評価され今回の受注に至りました。良質な建築物の建設を通じて同国の先進的かつ高度な医療提供体制の構築に貢献します。

【工事概要】

- 発注者：シンガポール保健省
- 施工者：五洋建設株式会社
- 施工場所：シンガポール、アウトラム地区
- 用途：医療施設、地下駐車場、連絡橋、地下連絡通路
※当社施工のアウトラム・コミュニティ病院と接続
- 構造：RC造+S造 地下4階地上20階建
- 最高高さ：113m
- 延床面積：149,380.45㎡(駐車場床面積除く)



新病院の完成イメージ図

■シンガポールにおける大型病院建築の実績



①ノベナ総合病院 (2012年度)



②NUHメディカルセンター (2013年度)



③チャンギ総合病院 (2014年度)



④セカン総合病院 (2018年度)



⑤アウトラム・コミュニティ病院 (2019年度)

>>> 連結財務諸表

●四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	前期末 (2022年3月31日現在)	当第2四半期末 (2022年9月30日現在)	科 目	前期末 (2022年3月31日現在)	当第2四半期末 (2022年9月30日現在)
(資産の部)	467,364	474,236	(負債の部)	307,577	314,929
流動資産	344,377	346,457	流動負債	247,764	253,522
現金預金	44,838	48,804	工事未払金等	117,852	110,131
受取手形・完成工事未収入金等	263,965	253,950	短期借入金	29,109	45,556
有価証券	18	5	コマーシャル・ペーパー	10,000	9,999
未成工事支出金等	14,896	18,880	未払法人税等	2,838	2,815
棚卸不動産	1,227	1,337	未成工事受入金	30,900	30,438
未収入金	11,575	15,648	引当金	7,782	8,037
その他	8,201	8,165	その他	49,281	46,542
貸倒引当金	△345	△335	固定負債	59,813	61,407
固定資産	122,986	127,779	社債	30,000	30,000
有形固定資産	87,507	91,968	長期借入金	23,447	25,065
無形固定資産	3,761	3,841	再評価に係る繰延税金負債	3,679	3,679
投資その他の資産	31,717	31,969	引当金	348	318
1 資産合計	467,364	474,236	退職給付に係る負債	1,847	1,859
			その他	490	485
			(純資産の部)	159,786	159,307
			株主資本	152,257	150,457
			資本金	30,449	30,449
			資本剰余金	18,386	18,386
			利益剰余金	103,984	102,132
			自己株式	△564	△511
			その他の包括利益累計額	7,342	8,699
			非支配株主持分	186	149
			負債純資産合計	467,364	474,236

1 総資産・純資産

総資産は、受取手形・完成工事未収入金等の減少および現金や建設仮勘定等の増加により、前期末に比べ69億円増加し4,742億円となりました。純資産は、配当金の支払い等による利益剰余金の減少などにより、前期末に比べ5億円減少し1,593億円となりました。

2 有利子負債

借入金の増加により、前期末に比べ181億円増加し1,106億円となりました。

●四半期連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
3 売上高	210,138	227,669
完成工事高	205,581	222,886
その他の売上高	4,557	4,782
売上原価	187,545	209,838
完成工事原価	184,080	206,018
その他の売上原価	3,465	3,819
売上総利益	22,592	17,831
完成工事総利益	21,501	16,868
その他の売上総利益	1,091	962
販売費及び一般管理費	10,771	11,159
4 営業利益	11,820	6,672
営業外収益	400	1,128
営業外費用	571	785
経常利益	11,650	7,015
特別利益	580	23
特別損失	252	102
税金等調整前四半期純利益	11,977	6,936
法人税、住民税及び事業税	3,137	2,155
法人税等調整額	432	△1
四半期純利益	8,408	4,782
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△37
5 親会社株主に帰属する四半期純利益	8,406	4,820

3 売上高

国内および海外において大型工事が進捗したことにより、前年同期に比べ8.3%増加し2,277億円となりました。

4 営業利益

国内土木で前年同期に高採算工事が竣工したことに伴い利益率が若干低下したこと、海外で為替の影響に加え燃料や資材、労務費の高騰により工事原価が増加したこと、および国内及び海外において船舶の稼働が低下した影響などにより売上総利益が減少し、前年同期に比べ43.6%減少し67億円となりました。

5 親会社株主に帰属する四半期純利益

特別損益や法人税等を加減した親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ42.7%減少し48億円となりました。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

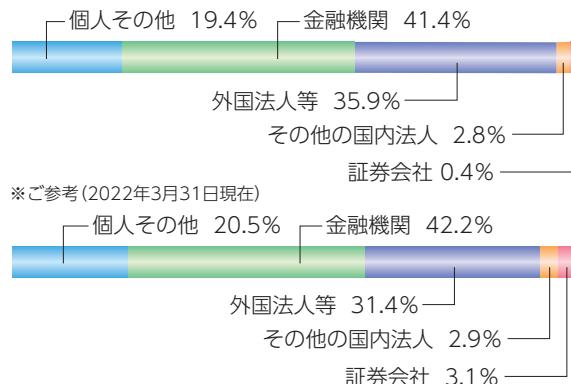
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,125	△3,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,288	△8,015
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,648	10,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	209	3,958
現金及び現金同等物の増減額	△3,555	2,363
現金及び現金同等物の期首残高	59,197	43,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,642	45,931

株式の状況

発行可能株式総数…………… 599,135,000株
 発行済株式の総数…………… 286,013,910株
 株主数…………… 44,614名

所有者別分布状況 (株式数)

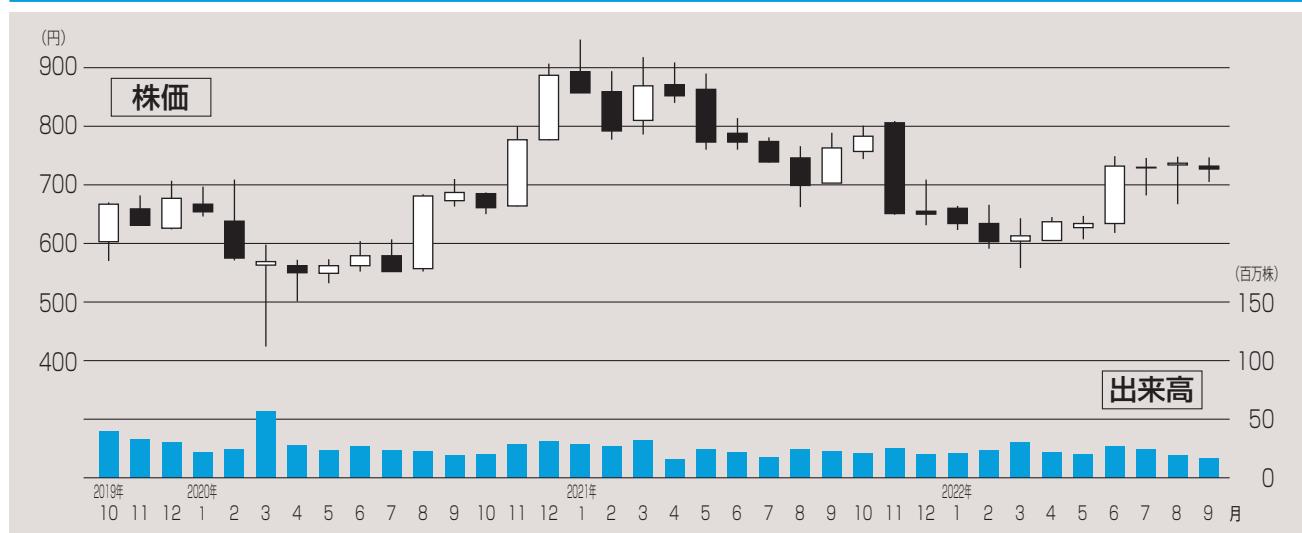


大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	49,302	17.3
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	24,861	8.7
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	8,865	3.1
株式会社みずほ銀行	7,059	2.5
明治安田生命保険相互会社	6,656	2.3
GOVERNMENT OF NORWAY	6,401	2.2
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	5,522	1.9
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,924	1.7
東京海上日動火災保険株式会社	4,763	1.7
ジユニパー	4,454	1.6

(注) 持株比率は、自己株式 (211,240株) を控除して計算しております。

株価および出来高の推移状況



会社概要

商号	五洋建設株式会社 PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD.
創業	1896(明治29)年4月
設立	1950(昭和25)年4月28日
資本金	30,449,952,150円
従業員数	3,295人
上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
主な事業概要	当社は建設業法により特定建設業者(特-3)第1150号として国土交通大臣の許可を受け、土木・建築ならびにこれらに関連する事業を行っております。また、宅地建物取引業法により宅地建物取引業者(13)第1635号として国土交通大臣の許可を受け、不動産に関する事業を行っております。

主要事業所

本店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3816-7111
札幌支店	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ10F	011-281-5411
東北支店	980-8605	宮城県仙台市青葉区二日町16-20 二日町ホームプラザビル2F	022-221-0932
北陸支店	950-8501	新潟県新潟市中央区東大通1-2-25 北越第一ビルディング5F	025-246-1381
東京土木支店	112-0004	東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー33F	03-3817-8890
東京建築支店	112-0004	東京都文京区後楽2-1-2 住友不動産飯田橋ビル5号館1~3F	03-3817-7600
名古屋支店	460-8614	愛知県名古屋市中区栄1-2-7 名古屋東宝ビル7F	052-209-8950
大阪支店	530-0014	大阪府大阪市北区鶴野町1-9 梅田ゲートタワー14F	06-6486-2100
中国支店	730-8542	広島県広島市中区上八丁堀4-1 アーバンビュウグランドタワー7F	082-511-7900
四国支店	790-0011	愛媛県松山市千舟町4-4-3松山LMCビル7F	089-935-5755
九州支店	812-8614	福岡県福岡市博多区博多駅東2-7-27 TERASO II 6F	092-475-5000
技術研究所	329-2746	栃木県那須塩原市四区町1534-1	0287-39-2100

海外営業所

国際部門シンガポール本社		
香港営業所	ベトナム営業所	インドネシア営業所
マレーシア営業所	エジプト営業所	タイ営業所
中東営業所	ミャンマー営業所	アフリカ営業所
デリー事務所		

取締役

代表取締役社長	清水 琢三
代表取締役	植田 和哉
取締役	野口 哲史
取締役	渡部 浩史
取締役	山下 朋之
取締役	日高 修
※取締役	川嶋 康宏
※取締役	高橋 秀法
※取締役	中野 北斗
※取締役	関 口 美奈

※印は社外取締役

監査役

常勤監査役	稲富 路生
※常勤監査役	倉石 英明
※常勤監査役	菅波 慎久
※常勤監査役	竹林 久
※印は社外監査役	

執行役員

※執行役員社長	清水 琢三	土木部門担当 兼 土木部門土木営業本部長
※執行役員副社長	植田 和哉	土木部門担当
執行役員副社長	上総 周平	土木部門担当
※専務執行役員	野口 哲史	土木部門土木本部長 兼 安全品質環境担当
※専務執行役員	田原 良二	建築部門建築本部長 兼 安全品質環境担当
※専務執行役員	渡部 浩史	建築部門建築営業本部長
専務執行役員	大下 哲則	土木部門洋上風力事業本部長 兼 土木部門担当(営業) 兼 CN推進室長 兼 購買部担当
専務執行役員	勝村 潤治	国際部門国際管理本部長
※専務執行役員	山下 朋之	経営管理本部長 兼 ICT推進室担当
常務執行役員	福島 正浩	土木部門担当(洋上風力)
常務執行役員	前田 宏	土木部門担当
常務執行役員	松山 章	九州支店プロジェクト部担当
常務執行役員	佐々木 毅	建築部門担当
常務執行役員	藤原 豊満	建築部門担当(営業)
常務執行役員	大津 義人	建築部門都市開発本部長
常務執行役員	中村 俊智	東京土木支店長
常務執行役員	関 浩一	土木部門担当
常務執行役員	北橋 俊次	経営管理本部担当 兼 総合監査部担当
常務執行役員	山下 一志	国際部門国際建築本部長
常務執行役員	関本 恒浩	ICT推進室長 兼 技術研究所担当
常務執行役員	吉田 成男	建築部門担当(建築技術)
常務執行役員	中橋 雅人	建築部門担当(営業)
常務執行役員	山口 和彦	名古屋支店長
常務執行役員	馬場 浩人	東京建築支店長
常務執行役員	河上 清和	四国支店長
常務執行役員	近藤 敬士	土木部門土木企画部長 兼 土木部門担当(土木,環境)
執行役員	佐藤 慎	国際部門担当(土木)
執行役員	鶴田 郁夫	土木部門担当
執行役員	田口 治宏	国際部門担当 兼 香港営業所担当
執行役員	川 延直樹	建築部門担当(設備)
執行役員	伊原 成章	国際部門担当(建築)
執行役員	谷川 純一	東北支店長
※執行役員	日高 修	国際部門国際土木本部長
執行役員	田口 智	中国支店長
執行役員	福島 伸一郎	土木部門担当
執行役員	神林 一隆	建築部門担当(建築設計)
執行役員	小倉 征巳	九州支店長
執行役員	梶元 淳	札幌支店長 兼 土木部門担当(洋上風力)
執行役員	生島 俊昭	大阪支店長
執行役員	水流 正	技術研究所長 兼 環境研究所長
執行役員	清水 偉章	安全品質環境本部長
執行役員	小嶋 正弘	土木部門担当(船舶機械) 兼 土木部門担当(洋上風力)
執行役員	金川 武雄	建築部門都市開発本部事業開発部長 兼 建築部門担当(営業)
執行役員	遠藤 淳一	経営管理本部経営企画部長 兼 財務部長

※は取締役兼務者である。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

公告方法 電子公告にて当社のウェブサイト (<https://www.penta-ocean.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

剰余金の配当の基準日 毎年3月31日
証券コード 1893
なお、中間配当制度は採用しておりません。

株式に関する マイナンバーお届出のご案内

株式の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主さまのマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出ください。

株式関係業務における マイナンバーを記載する主な支払調書

- 配当金等に関する支払調書
- 単元未済株式の買取請求などの株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問合せ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま
お取引の証券会社
- 証券会社とお取引のない株主さま
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル **0120-84-0178**

株式に関する住所変更等の お届出およびご照会について

証券会社等に口座をお持ちの場合

- 郵便物送付先・電話お問合せ先・各種お手続き
お取引の証券会社等になります。

証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)

- 郵送物送付先
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
- 電話お問合せ先 (フリーダイヤル)
0120-288-324
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- お取扱店
みずほ信託銀行
本店および全国各支店 (トラストラウンジを除く)
- 未払配当金のお支払
みずほ信託銀行 (トラストラウンジを除く) および
みずほ銀行

※支払明細発行につきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。

その先の向こうへ



〒112-8576 東京都文京区後楽2-2-8

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



グリーンプリンティング認定制度を
取得している工場で印刷しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用
して印刷しています。

